

一筆啓上

作左通信

第四十六号 平成二十一年六月二十二日発行

盛会だった作左ゆかりの地見学の旅

平成二十一年六月十三日 た。

(土)「一筆啓上・作左の会」 駿府城に着くと最初に眼
主催で大型バスを借り上げ、 に着いたのは堀(中堀)と
駿府公園と臨齋寺を見学し 石垣と高いビル、このビル
ました。 は静岡県庁と静岡市役所等
の官庁でした。中堀を渡り

当日の参加者は四十一人、 東御門をくぐってお城の中
天候は薄曇り、絶好の旅日 に入るのと広々とした公園で、
和でした。東名高速道路を 家康が入城していた頃のお
約二時間走り静岡に近づい 城がここに立てられていま
た頃、横山茂さんから「家 した。今は天守閣はなく、
康と駿府城」さらに「作左 昔を偲ぶ物は東御門と異櫓
衛門と駿府城」について、 (近年、再建された)くら
分かりやすい話がありました

いでちよつぱり淋しい思い
がしました。

次に訪れたのは臨齋寺で、
徳川家康が幼少の竹千代時
代、今川の人質となり、学
問をこの寺の太源雪齋に学
んだことで有名です。建物
は山腹を巧みに利用してお
り、本堂を始め山門や本堂
へ登る階段は立派なもので
した。この寺には、家康が
学んだ当時の部屋が残され
ているとのことでした。

昼食はマリンステーショ
ンでおいしい寿司の食べ放
題を満喫しました。

今回の旅は作左衛門ゆか
りの地を旅して研修を積む
と共に参加者同士の交流を
深める有意義な旅となりま
した。



臨齋寺本堂へ登る階段



駿府城一の丸異櫓